

会 議 結 果 報 告 書

会議名		令和7年度大野中地区まちづくり会議(第3回全体会)		
開催日時		令和7年9月11日(木) 午後7時00分～午後8時30分		
開催場所		大野中公民館1階 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	2人(市交通・地域安全課)		
	大野中まちづくりセンター	2人		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				

審 議 結 果

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 市からの説明

路上喫煙禁止地区の追加の告示について（交通・地域安全課）

交通・地域安全課が資料に沿って説明をした。

【質 疑】

- ・古淵駅前のモニュメント付近が、喫煙所の候補地とのことだが、子ども達も通るし、スペース的に厳しいのではないか。そうした要望があるのか。（大久保委員）
⇒市議会議員に相談している方もいる様である。（交通・地域安全課）
- ・喫煙者の方は、吸うべきところで吸っているのに、喫煙所の設置は不要ではないか。設置すると、逆にポイ捨てが増えてしまうのではないか。（西口委員）
⇒喫煙所があるところでは、あまりゴミも多くないが、指導員が週一回パトロールをしており、月1回はゴミ拾いもしている。（交通・地域安全課）
- ・市には、たばこ税が入っていて、吸う場所が欲しいという人もいるようだが、私は、喫煙者には酷だが不要と思っている。喫煙者の割合は？（森会長）
⇒統計データがないので定かではない。（交通・地域安全課）

4. 議題

（1）『令和7年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』について

大野中まちづくりセンターから以下のア～ウのとおり説明を行った。

ア. 日程及び場所（決定）

日 時：11月13日（木）18時00分～19時30分

場 所：大野中公民館 大会議室

イ. 当日の役割分担（再掲）

【司 会】 原口副会長 【閉 会】 佐藤副会長

【発表者1】 金本委員（特殊詐欺等を未然に防ぐために）

【発表者2】 玉利委員（防犯カメラ設置費補助制度の拡充について）

【発表者3】 西口委員（空き家対策について）

ウ. 発表資料 別紙のとおり

(2) フリートーク（各団体の活動状況や課題など）

森会長の進行により、以下のとおり、意見交換をした。

- ・大沼公民館は40周年の周年事業を展開しているが、利用者は高齢者が多いため、こどもや若い世代に関心を持ってもらえる事業を模索している。青少年部がこどもまつりを実施しているが、中学生・高校生・大学生はほとんど来ない。どう声かけしたらよいか。それと、地域の活性化の拠点として、自治会の協力をもっといただきたい。老人会等とももっと関わっていききたい。(佐藤副会長)
- ・若い世代が公民館を利用しない背景としては、公民館の有料化が原因としてあるのではないか。若い人には、無償になればよいと思うが。(森会長)
- ・有料化が原因ということではないと思う。全ての公民館が悩んでいる。大野中公民館は、施設的な面もあり難しいが、麻溝まちづくりセンターの様に自由に出入りできるオープンスペースがない。また、鵜野森中学校の合唱団などの生徒が地域に出たがっているので、連携していききたいと考えている。他にも大野小学校の体育館が改修で使えないので、公民館の大会議室を児童に開放している。若者という点では、特に相模女子大学等の大学を地元を抱えている公民館は、連携することによって、強みを発揮できる。そうしたことをもっとしていけば、違うのかもしれない。(大久保委員)
- ・若い人は公民館には来ないので、カフェテラス的な場所が公民館にもあればよい。(森委員長)
- ・若者は、なぜ公民館に集まらないのか、聞いてみないとわからない。消防団の若い団員は、地元に対する思いが薄いのか、友達と一緒に入隊して、一緒に辞めていってしまうことが多い。(西口委員)
- ・大学生のグループが「ヒヤクキチ」というこどもや高齢者等が集まる場を運営しており、高齢者には、スマホ講習等をしているようである。(川島委員)
- ・こどもたちには、公民館の利用はハードルが高すぎて、利用もしたことがなくて、よく分からない場所と感じている様である。以前は、飲み会をしたり、バンドをしたり、もっと気軽に使えていた。そうしたハードルが低くなれば、活気づくのではないか。(古賀委員)
- ・今の公民館は、飲食不可など縛りが多い。公民館が考えて、扉を開けていかないと。(森会長)
- ・以前の様に軽音楽が大丈夫になるとよい。(古賀委員)
- ・公民館の貸館が予約制なのがネックかもしれない。また、公民館ではこどもまつりを開催しており、多くの子どもが集まるし、ジュニアリーダーの子ども達も公民館に集まる。だが、そういう子ども達は、社会人になると地域を離れてしまうので、

いつか戻ってきてくれるとよい。イベント等で人を募集すると、たくさん来てくれるので、下地はあるが、それが途切れてしまう。(大久保委員)

- ・大学のサークルが、公民館を使ってくれるとよい。(古賀委員)
- ・児童、生徒は地域に出る機会を作りたいと思っているし、公民館としても、出てください、学校に任せます、と進めているが難しい。オープンスペースがあればよいが、建て替えない限りそれも難しい。(大久保委員)
- ・民生委員は高齢化しているため、小中学生にも登校時に何かちょっとした地域の異変などに意識を持ってもらうよう、学校に働きかけている。(堤副会長)
- ・イベントスタッフの新陳代謝が進んでいないので、自治会では、青山学院大学の吹奏楽部の学生が、3年で20人ほど来ていただき、交流したほか、手伝いなどもしていただいた。例えば、女子美術大学などもあるので、絵を描いてもらうなど、コラボできれば。自治会の回覧で呼びかけるだけでなく、SNSを活用するなどして、学生に声かけしていけば、関心を示してくれると思う。(原口委員)
- ・先ほど、小学生の登校時に協力をお願いするような話があったが、先日、こどもたちが、家に蜂がいると気づき、その家の人に知らせることができた。こどもたちは意外とよく見ているので、歩いているついでに何かあれば、協力できるかと思った。また、公民館に子ども達が行きづらいのは分かる。高齢者の場であって、こどもにゲームはやらないで！と言われそうなイメージ。本当は、下校時に暑い公園でゲームしているより、公民館にすることができれば親も安心。例えば、こどもたちの間では、カードゲーム大会が人気なので、公民館でそういう企画をしてもらえれば。友達が欲しいという子もいる。来てもいいと思われるのがまず大事。勉強スペースでもよいので。こどもセンターも中学生等に場を提供できていない。(岡崎委員)
- ・私は商人なので、商人が公民館を借りるにはハードルが高く、あまり身近ではなかった。やはり、公民館は一般の市民には身近ではないので、フリースペースがあればと思う。(田村副会長)
- ・ボランティア団体では、コロナ禍の4年で、皆さん、家にいることが多くなって、誘っても応えてくれなくて、活力が減っている。一番の悩みはスタッフの高齢化。若い人は働いているから、入ってくれない。参加者も少なくなっており、自分たちがいなくなったら、どうするか。夜の会議は誰も出てくれない。雨の日も嫌がられる。若い人をどう引っ張りだせるか。(本田委員)
- ・地域包括支援センターでも高齢化は感じており、スタッフだけでは厳しいので、ボランティアにも協力してもらっているが、元気な高齢者は担い手になるのを嫌がる。活動の場をどう増やしていけばよいか課題である。(谷委員)
- ・10年ほど前に公民館の必要性について、講義を受けたが、自治会が無かった時代に公民館が出来たと説明を受けた。その後、自治会が作られて、活動が盛んになり、

自治会と公民館が似たような活動をするようになってしまい、公民館の活動が疎かになってしまった、とのことである。また、防災の話になるが、小中学生が徘徊する高齢者を救った話や迷子の幼児を交番に送り届けたなどの報道もあったが、大人より素晴らしい活躍をしているので、災害時などの際にもぜひ協力してもらいたい。（高橋委員）

- ・老人クラブ連合会で最近話題になっていることは、神奈川中央交通において、運転手の確保が困難で、市内の山間部のバス路線が廃止してしまう、ということ。具体的には、藤野駅から相模湖駅の路線や三ヶ木のバスセンターからの路線がなくなるという。市と神奈川中央交通で話し合っているということだが、高齢者が病院に行けなくなってしまうのか、市はどう対応するのか。老人クラブ連合会としては、市にコミュニティバスなどできないかとお願いしなくてはと考えている。また、市から敬老事業が廃止になるので、意見を聞きたいという話もあったが、配り物は廃止でもよいが、落語会などのイベントの場合は、廃止では困るという意見が出ている。（小林委員）
- ・公民館に若い人が来ないという意見があったが、昔は三世代交流事業というものがあって盛んだった。それと、家から外に出ない人ほど、詐欺に遭っているように感じるので、公民館にもぜひ来ていただいて、色々と学んでいただければ。（高安委員）

（３）その他

大野中まちづくりセンターから以下のとおり説明を行った。

- ・１０月２３日（木）のまちづくり会議全体会（予備日）は、開催しません。
（次回全体会は、令和８年２月５日（木）１９時００分）

５．閉会あいさつ（佐藤副会長）

以 上

大野中地区まちづくり会議委員名簿

(まちづくり会議委員の役職：会長◎、副会長◇)

No	推薦団体名	役職等	氏名	備考
1	大野中地区自治会連合会	会長	◎森 逸雄	出席
2	大野中地区商店会	代表	◇田村 小次郎	出席
3	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	◇堤 道子	出席
4	大野中地区老人クラブ連合会	代表	◇小林 太	出席
5	大沼公民館	館長	◇佐藤 純	出席
6	大野中地区社会福祉協議会	会長	◇原口 和博	出席
7	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛	出席
8	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子	出席
9	大野中地区自治会連合会	副会長	玉利 博	出席
10	大野中公民館	館長	大久保 宗俊	出席
11	大野台公民館	館長	高安 祥介	出席
12	大野中地区子ども会育成連絡協議会	代表	野口 裕光	欠席
13	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介	欠席
14	大野中地区交通安全母の会	代表	古賀 幸枝	出席
15	大野中地区連合自主防災隊	代表	高橋 健一	出席
16	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也	出席
17	大野中地区企業（大野台事業所協議会）	代表	末廣 誠司	欠席
18	大野中地区青少年指導委員	代表	山本 達郎	欠席
19	大野中地区スポーツ推進委員	代表	金本 祥司	欠席
20	大野中地区小学校PTA	代表	岡崎 香	出席
21	大野中地区中学校PTA	代表	小林 靖志	欠席
22	大野中地区健康づくり普及員	代表	小助川 和夫	欠席
23	大野中地区ボランティアグループ	代表	本田 清子	出席
24	大野中地区地域包括支援センター	代表	谷 梨絵	出席

令和7年度 大野中地区まちづくり会議【第3回全体会】 次第

日時：令和7年9月11日（木）午後7時00分

場所：大野中公民館 大会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 市からの説明

路上喫煙禁止地区の追加の告示について（交通・地域安全課）

4. 議 題

（1）『令和7年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』について

ア. 日程及び場所（決定）

日 時：11月13日（木）18時00分～19時30分

場 所：大野中公民館 大会議室

イ. 当日の役割分担（再掲）

【司 会】 原口副会長 【閉 会】 佐藤副会長

【発表者1】 金本委員（特殊詐欺等を未然に防ぐために）

【発表者2】 玉利委員（防犯カメラ設置費補助制度の拡充について）

【発表者3】 西口委員（空き家対策について）

ウ. 発表資料 別紙のとおり

（2）フリートーク（各団体の活動状況や課題など）

（3）その他

10月23日（木）のまちづくり会議全体会（予備日）は、開催しません。

（次回全体会は、令和8年2月5日（木）19時00分）

4. 閉会あいさつ

大野中地区まちづくり会議委員名簿

No	推 薦 団 体 名	役職等	氏名	会の役職	備考
1	大野中地区自治会連合会	会長	森 逸雄	会長	
2	大野中地区商店会 (大野中地区商店連合会)	代表	田村 小次郎	副会長	
3	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	堤 道子	副会長	
4	大野中地区老人クラブ連合会	代表	小林 太	副会長	
5	大沼公民館	館長	佐藤 純	副会長	
6	大野中地区社会福祉協議会	会長	原口 和博	副会長	
7	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛		
8	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子		
9	大野中地区自治会連合会	副会長	玉利 博		
10	大野中公民館	館長	大久保 宗俊		
11	大野台公民館	館長	高安 祥介		
12	大野中地区子ども会育成連絡協議会	代表	野口 裕光		
13	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介		
14	大野中地区交通安全母の会	代表	古賀 幸枝		
15	大野中地区連合自主防災隊	代表	高橋 健一		
16	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也		
17	大野中地区企業（大野台事業所協議会） (株式会社ギオン)	代表	末廣 誠司		
18	大野中地区青少年指導委員 (大沼地区)	代表	山本 達郎		
19	大野中地区スポーツ推進委員 (大野中地区)	代表	金本 祥司		
20	大野中地区小学校PTA (大野台小学校PTA)	代表	岡崎 香		
21	大野中地区中学校PTA (鵜野森中学校PTA)	代表	小林 靖志		
22	大野中地区健康づくり普及員 (大沼地区)	代表	小助川 和夫		
23	大野中地区ボランティアグループ (ボランティア華)	代表	本田 清子		
24	大野中地区地域包括支援センター (大野台地域包括支援センター)	代表	谷 梨絵		

令和7年度 地区まちづくりを考える懇談会実施日程表

(R7.8.12時点)

No.	地区名	実施日	開始時間	会場
1	城山	10月30日(木)	18時	城山公民館 大会議室
2	相武台	11月6日(木)	18時30分	相武台公民館 大会議室
3	星が丘	11月8日(土)	14時	星が丘公民館 大会議室
4	藤野	11月11日(火)	18時	藤野総合事務所4階 会議室
5	大野中	11月13日(木)	18時	大野中公民館 大会議室
6	東林	11月27日(木)	18時	東林公民館1階多目的ホール
7	橋本	2月3日(火)	18時	緑区合同庁舎4階集団指導室
8	大沢	2月5日(木)	18時	大沢公民館 大会議室
9	津久井	2月7日(土)	14時	津久井総合事務所3階 第1、2会議室
10	相模台	2月9日(月)	18時	相模台公民館 大会議室
11	大野北	2月10日(火)	18時	大野北公民館 大会議室
12	大野南	2月12日(木)	18時	南区合同庁舎3階 講堂
13	麻溝	2月16日(月)	18時	麻溝公民館 大会議室
14	田名	2月17日(火)	18時	田名公民館2階 大会議室

※開催時間は開始時間から1時間30分です。

※相模湖・小山・清新・横山・中央・光が丘・上溝・新磯地区の実施はありません。

大野中地区まちづくりを考える懇談会 次第（案）

日 時：11月13日（木）18時00分～19時30分

場 所：大野中公民館 大会議室

司 会 原口副会長

1 開 会

2 出席者紹介

3 大野中地区まちづくり会議会長あいさつ

4 市長あいさつ

5 懇 談【懇談進行／森会長】

テーマ「防犯対策について」

（1）特殊詐欺等を未然に防ぐために（金本委員）

（2）市防犯カメラ設置費補助制度の拡充について（玉利委員）

（3）空き家対策について（西口委員）

6 閉 会（佐藤副会長）

- ・ 当日、各発表者は、文案のとおり発表をお願いします。
- ・ 文案以外の意見や質問等があれば、文案の発表後の市との対話の中で、適宜、挙手の上、発言をお願いします。

（１）特殊詐欺等を未然に防ぐために（金本委員）

大野中地区では、令和６年の特殊詐欺の犯罪発生件数が３４件あり、南区内で最も被害の多い地区となっている。

地域では、地区防犯協会や自治会活動において、注意喚起をしており、また、市においても、迷惑電話防止機能付き電話機の購入費補助制度を設けるなどの対策をしているが、こうした被害を少しでも未然に防ぐため、

- ①ひばり放送や広報さがみはらで定期的に注意喚起をする。
- ②高齢者向けの特殊詐欺等の防犯講座を市が警察と協力して各地域で開催する。
- ③さがみはら安全・安心メールの高齢者の登録を促進する。
- ④被害に遭いそうな高齢者等が相談する窓口を警察以外にもまちづくりセンター等の公共施設にも設置する。

以上４点について、市で取り組んでいただけないかと考えているが、市の考えを伺いたい。

(2) 市防犯カメラ設置費補助制度の拡充について（玉利委員）

大野中地区の令和6年の犯罪発生件数は、自転車盗難が127件と多く、暴行や窃盗等のその他の刑法犯認知件数も357件で、他地区と比べても非常に多く、地域では不安を抱えている。

これに対して、市では、自治会等の地域の防犯活動団体を対象として、防犯カメラ設置費補助制度を設けているが、設置台数が少ないように思われるので、犯罪を抑止して安全で安心に暮らしていけるよう、設置台数を増やせばよいと思う。

そのために、制度の周知に力を入れることのほか、補助金の上限額について、同じ県内指定都市の横浜市は28万円、川崎市は20万円であるが、相模原市は12万円のため、設置者の負担軽減を目的に上限額を引き上げることや、東京都の様に修理に要する経費を新たに対象とするなどの拡充について、市の考えを伺いたい。

(3) 空き家対策について（西口委員）

ひとり暮らしの高齢者が増えていくとともに、管理不全の空き家も増えているかと思われるが、景観を損なうだけでなく、不審火の危険や不審者が寄り付くなど、防犯上の観点からも望ましくないと思う。

このため、管理不全と思われる空き家を早期に把握して、所有者に適切な管理を促していくことが大事と思う。

しかし、自治会加入率低下の問題もあり、未加入世帯の場合、関わりが難しい面もあるため、地域としては、どの様に対応したらよいか教えていただきたい。

また、市がどのように空き家を把握して、どのような対策に取り組まれているのか、併せて、今後、空き家対策として検討していることなども伺いたい。